

## 一般研究集会（課題番号：29K-2）

集会名：第 15 回地質災害軽減国際シンポジウム

主催者名：島根大学

研究代表者：汪 発武

所属機関名：島根大学総合理工学部

所内担当者名：釜井 俊孝

開催日：平成 29 年 8 月 27-31 日

開催場所：隠岐の島町，松江市，宇治市

参加者数：124 名（所外 122 名，所内 2 名）

- ・大学院生の参加状況：36 名（修士 5 名，博士 31 名）（内数）
- ・大学院生の参加形態 [ 口頭発表・現地見学 ]

### 研究及び教育への波及効果について

今回の国際シンポジウムでは、隠岐の島世界ジオパークで海岸浸食や斜面災害を見学し、ジオパークと地質災害軽減の関連性について認識を深めた。松江と京都で 2 回の研究発表会を開催し、最新の研究成果が披露できた。参加者は災害関連実務者、研究者、大学院生を含めて 124 名となり、災害研究及び教育への波及効果が大きいと評価できる。

### 研究集会報告

#### (1) 目的

この集会是日本、中国、韓国、インドネシア、イタリアなどの研究者が地質災害軽減に向けて、少人数で議論する会合である。各自の研究成果を披露し、最新の減災技術について議論する。そして開催国の災害現象および減災技術について見学する。

#### (2) 成果のまとめ

「第 15 回地質災害軽減国際シンポジウム」は 2017 年 8 月 27 日から 31 日にかけて、島根県隠岐の島、松江市、宇治市で開催した。参加者が計 124 名で予定人数の 86 人を大幅に上回った。今回の研究集会はそのシリーズ会議の 15 周年記念イベントにもなっている。この 15 年間でできた国際的の地質災害軽減のネットワークメンバーは集大成の研究成果を持ち合って交流した。研究発表会は松江セッションと京都セッションに分けて実施し、計 6 件のハイレベル講演、10 件の特別講演、24 件の招待講演、16 件の一般発表、36 件の若手研究発表、10 件のポスター発表を行った。現地討論会では、隠岐の島世界ジオパークで実施し、ジオパークにおける地質災害軽減をテーマに議論を行った。また、防災研での開催や、防災研はこの会議のサポートによって、国際的にリードする当該分野の共同利用・共同研究拠点であることを、国内外に強く印象づけることができた。

#### (3) プログラム

2017 年 8 月 25 日（松江・テルサ）：参加者登録，Icebreaking party

2017 年 8 月 26-27 日（隠岐の島世界ジオパーク）：海岸浸食，海岸地すべり巡検

2017 年 8 月 28-29 日（松江・テルサ）：第 15 回国際地質災害シンポジウム 開会式・受賞式・ハイレベル講演会・招待講演，研究発表，若手講演会

8 月 28 日	Session	Location
09:30-10:30	High Level Forum 1	Terrsa Hall
10:40-12:10	High Level Forum 2	
13:10-14:40	High Level Forum 3	
14:45-15:35	Keynote Lecture 1	
15:55-18:00	Keynote Lecture 2	

8 月 29 日	Session	Location
08:30-10:10	Invited	Room L, M, Terrsa
10:20-12:00	Invited	Room L, M, Terrsa
13:00-14:00	Scientific	Room L, M, Terrsa
14:00-16:00	Youth Forum 1,	Room L, M, Terrsa
16:15-21:00	Move to Kyoto	

2017年8月30日（宇治・黄檗プラザ）：第15回国際地質災害シンポジウム 主題講演会・招待講演，研究発表，若手講演会

8月30日	Session	Location
09:00-10:30	Keynote Lecture	Kihada Hall (1F)
10:40-12:00	Invited Lecture 5	Kihada Hall (1F)
13:00-14:00	Scientific Session 3	Meeting Room 1 (1F)
	Scientific Session 4	Meeting Room 2 (1F)
14:10-16:40	Youth Forum 3	Meeting Room 1 (1F)
	Youth Forum 4	Meeting Room 2 (1F)
16:40-17:30	Visit the laboratory	
17:30-19:30	Closing Ceremony & Farewell Party	Hybrid Space, Obaku Plaza (2F)

(4) 研究成果の公表

概要集は印刷したものを登録時配布した。内容は別冊子を参照してください。